

特別展

大阪市立東洋陶磁美術館

安宅コレクション 名品選101

THE ATAKA COLLECTION 101 Masterpiece Selection

2023


3.18|S|A|T| — 5.21|S|U|N|

開館時間 午前11時—午後6時
*金曜は午後7時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日
入館料 一般1,200(1,000)円 高大生800(700)円 中学生以下無料
*20名様以上の団体は()内の割引料金
*障がい者手帳等ご提示の方はご本人および同伴者1名まで無料

主催 公益財団法人泉屋博古館 住友グループ各社 大阪市立東洋陶磁美術館
日本経済新聞社

■展示替え情報 / 前期:3月18日[土]—4月16日[日] 後期:4月18日[火]—5月21日[日]

 泉屋博古館東京 SEN-OKU
HAKUKOKAN
MUSEUM TOKYO

重要文化財

木葉天目 茶碗

中国 南宋時代 12-13世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション)

写真:六田知弘

特別展

大阪市立東洋陶磁美術館

安宅コレクション 名品選101

THE ATAKA COLLECTION 101 Masterpiece Selection

2023


3.18|S|A|T| — 5.21|S|U|N|

開館時間 午前11時—午後6時
*金曜は午後7時まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日
入館料 一般1,200(1,000)円 高大生800(700)円 中学生以下無料
*20名様以上の団体は()内の割引料金
*障がい者手帳等ご提示の方はご本人および同伴者1名まで無料

主催 公益財団法人泉屋博古館 住友グループ各社 大阪市立東洋陶磁美術館
日本経済新聞社

■展示替え情報 / 前期:3月18日[土]—4月16日[日] 後期:4月18日[火]—5月21日[日]

 泉屋博古館東京 SEN-OKU
HAKUKOKAN
MUSEUM TOKYO

粉青白地象嵌 条線文 甌

韓国 朝鮮時代 15世紀
大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション)

写真:六田知弘

Chinese Ceramics



中国陶磁 美、それは完璧であること

- 1.《加彩 婦女俑》唐時代 8世紀
 2.国宝《油滴天目 茶碗》南宋時代 12-13世紀/3.重要文化財《木葉天目 茶碗》南宋時代 12-13世紀
 4.《青磁 水仙盆》北宋時代 11世紀末-12世紀初/5.国宝《飛青磁 花生》元時代 14世紀
 全て 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション) 写真:六田知弘

Korean Ceramics



韓国陶磁 美、それは自然であること

- 6.《青磁陽刻 牡丹蓮花文 鶴首瓶》高麗時代 12世紀
 7.《粉青白地象嵌 条線文 簞》朝鮮時代 15世紀/8.《青花 梅竹文 壺(「辛丑」銘)》朝鮮時代 1481年
 9.重要文化財《青磁象嵌 童子宝相華唐草文 水注》高麗時代 12世紀後半-13世紀前半/10.《粉青鉄絵 蓮池魚鳥文 倭壺》朝鮮時代 15世紀後半-16世紀前半
 全て 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈/安宅コレクション) 写真:六田知弘

THE ATAKA COLLECTION 101 Masterpiece Selection

特別展

大阪市立東洋陶磁美術館
 安宅コレクション名品選101

世界有数の東洋陶磁を所蔵する大阪市立東洋陶磁美術館。そのコレクションの中核が「安宅コレクション」です。安宅産業株式会社の会長であった安宅英一氏(1901-1994)が、会社の事業の一環として1951年から25年かけて収集した961件もの名品の数々。その全てを選び抜いた安宅氏の眼は、決して従来の価値観に縛られることのない、ただそこに存在する美を見極めようとするものでした。

ところが、安宅産業の経営破綻によってコレクションは散逸の危機を迎えます。世界に類を見ない貴重なコレクションの行方が案じられる中、大阪を同じく本拠とする住友グループが大阪市に寄贈、美術館の建設に寄与しました。コレクションが安住の地を得てから40周年を迎えました。「安宅コレクション」から国宝2件、重文11件を含む珠玉の101件をご紹介します。

■ 展示替えあり。前期:3月18日[土]-4月16日[日]、後期:4月18日[火]-5月21日[日]

大阪市立東洋陶磁美術館

大阪の都心部に広がる中之島公園に建つ大阪市立東洋陶磁美術館は、世界的に有名な「安宅コレクション」の寄贈を記念して大阪市が設立。1982年11月に開館しました。「安宅コレクション」の他に「李秉昌コレクション」の韓国陶磁、濱田庄司作品などの寄贈や、日本陶磁の収集により、東洋陶磁のコレクションとして世界第一級の質と量を誇ります。2023年秋まで、改修工事のため休館中。



会期中のイベント(すべて要観覧券)

事前申込受付開始:①~③、⑤は2月17日[金]午前11時よりウェブサイトにてすべて受付(先着順)。
 ①~④は入館料のみでご参加いただけます。会場:当館講堂/各定員:40名

- 1 記念講演会「大阪市立東洋陶磁美術館と安宅コレクション」3月18日[土] 14:00~15:00
 [講師]守屋 雅史氏(大阪市立東洋陶磁美術館館長)
- 2 講演会 「安宅コレクション中国陶磁10選」4月8日[土] 14:00~15:00
 [講師]小林 仁氏(大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理)
 「安宅コレクション韓国陶磁10選」5月13日[土] 14:00~15:00
 [講師]鄭 銀珍氏(大阪市立東洋陶磁美術館主任学芸員)
- 3 レクチャー +対談 「加彩婦女俑の魅力にせまる」4月9日[日] 14:00~15:30
 [講師]小林 仁氏(大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理)、坂爪 康太郎氏(陶芸家)
 小林氏レクチャー「唐代女性俑の系譜と加彩婦女俑」
 坂爪氏レクチャー「加彩婦女俑レプリケーション」制作を語る
- 4 当館学芸員によるスライドトーク 3月23日[木]、4月20日[木]、5月11日[木] 各12:15~12:45(当日先着順)
- 5 講演会 「展覧会の飲み、記憶装置としての図録 その存在と深化について(アートwithシリーズ)」4月14日[金] 17:30~18:30
 [講師]鎌田 恵理子氏(青幻舎 社長付編集委員) [聴講料]500円

◎各プログラムの詳細、お申込みについては当館ウェブサイトをご覧ください。
 ◎新型コロナウイルス感染症予防・拡散防止のため、予定を変更・中止する場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

《泉屋博古館東京 年間パスポート》(税込4,000円・東京館受付にて販売中)

購入日より1年間、泉屋博古館東京の展覧会に何度でもご入場いただけます。
 *記名のご本人様および同伴者1名も無料 *泉屋博古館(京都・鹿ヶ谷)にも2割割引料金でご入場いただけます。



アクセス案内

- 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅下車北改札正面 泉ガーデン1F出口より屋外エスカレーターで徒歩3分
 - 日比谷線「神谷町」駅下車 4b出口より徒歩10分
 - 銀座線・南北線「溜池山王」駅下車 13番出口より徒歩10分
- 〒106-0032 東京都港区六本木1丁目5番地1号
 TEL 050-5541-8600(ハローダイヤル)



<https://sen-oku.or.jp/tokyo/>

泉屋博古館東京
 TMHSE
 KSKUN
 OKUKO
 KKAN